

岡田重美・山岡光広・西山実議員が一般質問

発言順

岡田重美議員



◆産婦健康診査助成について、◆アンケートの結果を受けて、小中学校のトイレに生理用品の設置を、◆学校へ行けない子どもたち、保護者への支援について、◆甲賀斎苑の施設等改善について

岡田 産後うつや虐待を防ぐ点からも産後2週間、1ヶ月後の産婦の健診は重要。産婦検診助成の早期実施を。

健康福祉部長 検診費用と同額の助成に向け検討している。

岡田 新日本婦人の会が県内で行ったアンケートでは、82%の児童生徒が「トイレに生理用品があった方がよい」と回答している。トイレトペーパーと同様に小中学校女子トイレ個室に、生理用品を設置すべき。

教育部長 生理用品が必要な場合は保健室で渡している。今後は自由に取りに来れるよう保健室内での設置場所の検討を進めていく。

岡田 不登校が増えている。スクールソーシャルワーカー、訪問相談員の増員を。また、不登校を生まないためには、教員を増やし、ひとり一人にきめ細かく接することが大切ではないか。

教育部長 スクールソーシャルワーカー等の増員も含め支援の充実を図る。子どもたちに不利益が生じることのないよう、教職員の確保について県へ要請していく。

岡田 甲賀斎苑の控室に浴室、またはシャワールームの設置を。

市民環境部長 設置場所や費用について引き続き調査を進めていく。

山岡光広議員



◆新年度予算案について、◆内部統制制度確立について、◆75歳以上高齢者の健康診査と人間ドックへの助成、◆特別養護老人ホームの待機者解消について、◆市職員の時間外労働、その後。

山岡 75歳以上高齢者の健康診査の拡充について2018年12月議会で取り上げたが、新年度から拡充される内容は、75歳の誕生日に「人間ドック助成券」を。

市長 新年度から長期入院者及び施設入所者を除く加入者が対象に。具体的には現在約27%が新年度からは93%に、3.3倍となる見込みで健診内容も充実させる。人間ドック助成は、広域連合との調整、財源確保等が必要ことから、他県の状況も調査してまいりたい。

山岡 特別養護老人ホームの待機者(名寄せで329人)の解消のため、第9期介護保険事業計画のなかで施設整備計画は必要ない。看護小規模多機能型居宅介護2カ所、介護医療院1カ所、既存特養施設を15床増床を予定している。

山岡 昨年12月、今年3月・6月議会で市職員の時間外労働の是正を求めたが、その後の実態は。

総務部長 この一年間の時間外勤務は、10812時間・9.2%減。「午前零時を超えての退庁」は、昨年11月15課が、今年4月17課、5月5課、6月5課、7月ゼ口、8月4課、9月3課、10月3課に。午後10時以降の深夜勤も25%の減となっている。

西山実議員



◆高齢者・低所得者向けの住宅政策について、◆水口城址周辺の桜並木の適正な更新と雑木の撤去を、◆旧東海道の観光トイレの整備・近隣の公共施設トイレの利用促進と洋式化の推進について

西山 「市営住宅の新規整備の可能性は低いと考えられる」としているが、高齢者・生活弱者の公営住宅のニーズがある以上は市営住宅の供給に力を入れるべき。

建設部長 住宅に困窮する高齢者を含む低廉な所得者に対しては、汎用性の高い「民間賃貸住宅家賃補助事業」を継続し、ニーズの充足に努める。

西山 新耐震基準を満たさない住宅に入居する21団地127世帯へのアンケートで、75%がこのまま住み続けたいとの意向である。最後の一人まで追い出すことのないように。また、空部屋を含め、周辺環境が悪化しないよう環境管理の強化を。

建設部長 入居者の状況や心情に寄り添いながら、住みやすい住宅環境の維持に努めていくとともに、引き続き、修繕工事の実施や、周辺環境の管理を行っていきたい。

西山 市として、水口城址の管理、雑木の撤去を。また、これまで滋賀県に対してどのような要請を行ってきたのか。

教育部長 業務委託により法面の草刈りや支障木の伐採を年間2回実施しており、今後も適切な管理に努める。堀の内側法面の高木は、滋賀県に要請したが、大型クレーンを操作できるスペースが限られ、一部の除伐にとどまっている。

山岡 市議会議員の任期も折り返し。新たな気持ちで臨みたいですね。

西山 私は市議になって二年。まだまだ質問は、緊張しながら、それでも市民のみなさんの切実な願いを届けるために一生懸命に頑張っています。後半は、産業建設常任委員会副委員長としての役割も担うことになりました。

岡田 今年は10月の市長選と同時に、市議補欠定数三選挙があります。なんと一議席増を勝ち取り四人の議員団に。

山岡 国会でも地方議会でも日本共産党の役割の重要性が増しています。岸田内閣の支持率は10%台に。相次いで閣僚が更迭される事態に。「パーティ券で裏金づくり」をスクープしたのも「赤旗日曜版」。事実と道理に基づく論戦が大事ですね。

岡田 私も9月議会で、山岡議員も12月議会で、「特養待機者」問題を取り上げましたが、市の答弁は「新たな施設整備は必要ない」と言い切ったのは驚きですね。もっと市民の願いに寄り添う姿勢でないと。

西山 生理用品を小中学校のトイレにという要求にも「保健室で…」にこだわっている。トイレトペーパーと同様にトイレに設置すればいい。当たり前の。

岡田 日本共産党議員団の質問は、市民の生活実態と切実な願いを取り上げているのが特徴ですね。答弁は、すぐによい返事とならなくても、4月から高校卒業まで医療費が完全無料になるように、一步一步前進しています。加齢性難聴の補聴器購入補助も「検討」までこぎつけていますので早期実現を期待したいですね。